

<令和6年度中間期教職員自己評価について>

本校の本年度の重点課題は、昨年度と同様です。各項目は、以下のとおりです。

○「自ら学び、ともに考え合える子」の育成のために

- ①学習規律を守り、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
- ②情報機器等を活用し、学習意欲を高めるとともに、自分の考えをもち、コミュニケーション力を育む指導を行う。
- ③SDGs学習やESD等、主体的・対話的で深い学びになるような問題解決的な学習に取り組んでいる。

○「他人を思いやる温かい心をもつ子」の育成のために

- ④進んで挨拶し、学校のきまりやマナーを守る態度を育成する。
- ⑤人権意識を高め、自分も相手も尊重して共生できる仲間づくりを行う。

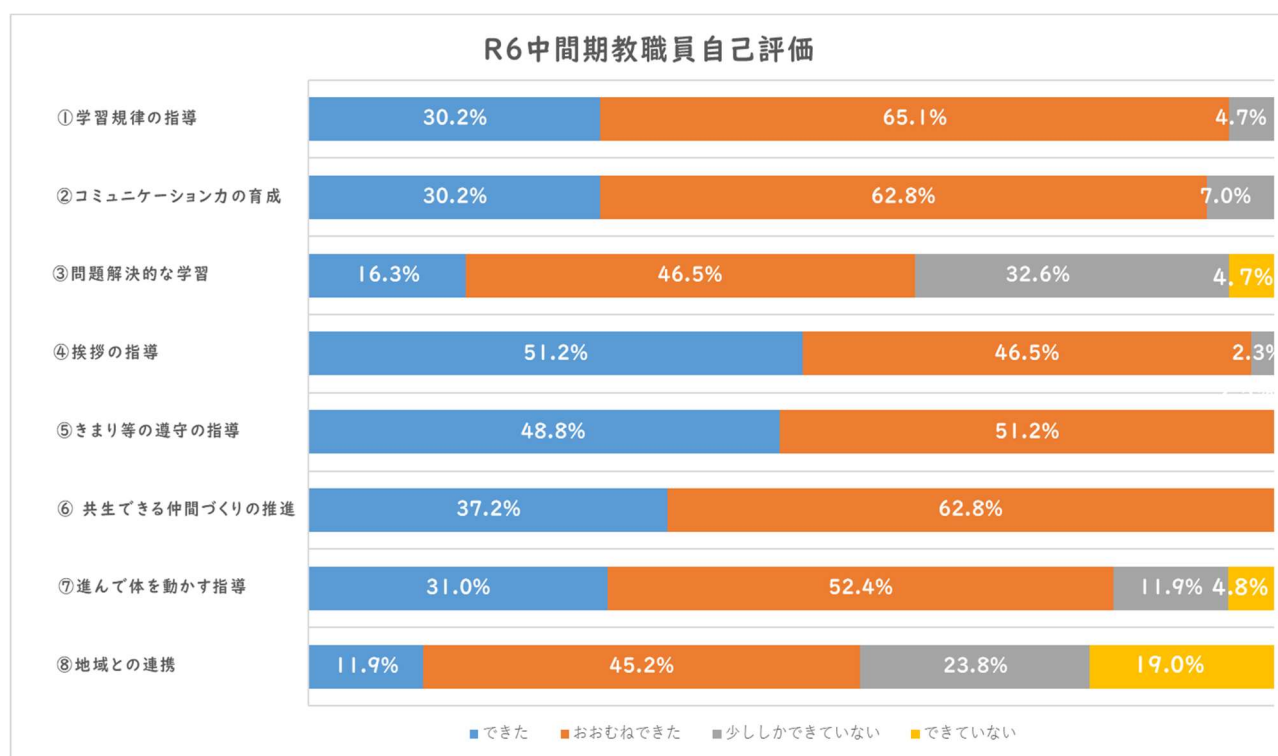
○「健康でたくましい子」の育成のために

- ⑥遊びや運動に親しむ態度の育成を図る。

○「生駒を愛する子」の育成のために

- ⑦学校・家庭・地域と連携した協働活動を推進する。

以上の内容が網羅されるように教職員の質問項目を精選し、自己評価を行いました（1学期末実施）。以下にその結果を示すとともに、簡単ですがその考察を記します。



① 学習準備を整えさせ、学習規律を守るよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、95.3%でした。割

合としては昨年度より約2ポイント減少していますが、本年度もほとんどの教職員が学習規律を意識して取り組めたことが伺えます。

学習を行うにあたり、まずは、学習規律が大切になってきます。授業の前に学習準備をする、手を挙げて発言するなど、基本的な指導が概ねできていたように思います。その成果があって、授業中の子どもたちは、静かに落ち着いて学習できている子どもたちが多かったです。学級によっては、子どもたち自身で学習を進める取組をしている学級もありました。また、多様性のある子どもたちに配慮して取り組む学級もありました。その中でも決まりを作って秩序ある学習ができていたように思います。本年度も来校された方々から「子どもたちは落ち着いて学習に取り組んでいる」と評価していただいています。2学期以降も引き続き指導していきたいと思っています。

②学習意欲を高める工夫をし、自分の考えをもたせたり、話し合い活動をさせたりして、コミュニケーション力を育む。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、93.0%でした。割合としては、昨年度よりも約8ポイント上昇しました。

子どもたちのコミュニケーション力を高めるために、ペア学習やグループ学習を授業の中によく取り入れていました。コミュニケーション力を育むには、まず自分の意見、考えをもつこと。教職員は、ノートやタブレットを活用して自分の考えをもたせています。本年度も引き続き、国語科を中心とする「書く」活動の研究を進めており、子どもたちの書くことへの苦手意識が減少しているように感じます。今後もICTを活用して効率的・効果的に学習を進め、学習意欲の向上を図るとともに、コミュニケーション力を育んでいきたいと思っています。

③SDGs学習やESD等、主体的・対話的で深い学びになるような問題解決的な学習に取り組んでいる。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、62.8%でした。割合としては、昨年度よりも約5ポイント上昇しました。

各教科で子どもが主体的に学べるような学習に取り組んでいますが、ESDについては、本格的に実施するのが2学期から。そのことが反映されている数字だと思います。本年6月に文部科学省から、生駒市初となるユネスコスクール・キャンディデート(国内で承認されユネスコ本部へ申請段階にある学校)の承認を得ることができた本校は、ユネスコスクールに登録されている団体・学校等とネットワーク化を図ることができます。今後、このネットワークを有効活用することも視野に入れており、昨年度の実践を基にして、2学期以降、この項目の充実を目指しています。

④友だちや先生、地域の方たちに自分から進んで挨拶できるよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、97.7%でした。割合としては、昨年度よりも約13ポイント上昇しました。本校の子どもたちの挨拶は、明るく、元気で、とても良い挨拶をする子が多いです。先生方の指導や、地域の方や家庭でのお

声掛けのおかげだと感じています。

教職員も良く挨拶するようになったようで、来校者の方から「学校の先生方からよく挨拶してくれます。」「先生方は、みんな明るいですね。」などの評価を得ています。昨年度までも、まず私たち大人が自分から進んで挨拶できるようにしなければならぬと話してきましたが、今後も教職員が率先して挨拶に取り組んでいきたいと思ひます。また、2学期には、委員会の子もたちが挨拶運動に取り組もうと計画してくれています。さらに、学校地域協働本部でも挨拶運動を行おうと考えていただひているところです。今後とも、ご家庭や地域でのご協力をお願いしひます。

⑤マナーやモラル、ルールを守って行動することで安心して学校生活が送れるように指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、100%でした。割合としては、昨年度よりも約5ポイント上昇しました。

生徒指導関係については、年度当初に教職員で共通理解を図り、一貫した指導に当たっています。その甲斐あってか、子どもたちは落ち着いて、安心して学校生活を送れているように感じます。2学期以降も子どもたちが安全に安心して学校生活を送れるように、引き続き教職員一同、ベクトルを同じくして指導に当たりたいと思ひます。

⑥安心して学校生活が送れるよう、人権意識を高め、自分も相手も尊重して共生できる仲間づくりを進める。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、100%でした。割合としては、昨年度よりも約10ポイント上昇しました。

本年度も「相手も自分も大切にする子どもを育て、互いの違いを認め合い、支え合うなかま集団を育てる」ことを目標に取り組んでいます。全校で「ありがとうの木」に取り組んだり、道徳の授業や学校生活全体で、道徳教育や人権教育に取り組んだりしました。また、子ども同士でトラブルが起こった際には、担任が仲裁に入ったり、学年や他の教職員と連携を図ったりして、早期の解決を図るとともに、継続して子どもたちを見守ってきました。

本年度は、さらに「いこしょう ほっかほっかプロジェクト」を推進しており、昨年度同様、人権教育学習の参観を行ったり、ユネスコスクールの国際デーに取り組んだりする予定です。また、「あったか標語の募集」「学校行事実施後の自学年、他学年のキラリポイントの発見」「元気はつらつ 朝の挨拶運動」など、新たな取組も行っていく予定です。

⑦業間や業前の遊びや体育の授業を通して、進んで体を動かすよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、83.4%でした。割合としては、昨年度とほぼ同じです。

本校では、朝から外で元気よく遊ぶ子どもたちの姿が見られます。また、休み時間でも多くの子どもたちが運動場でドッジボールをしたり、鬼ごっこをしたり、遊具で遊んだりしています。また、学級遊びで外に出ているクラスもあり、外遊びを推奨しようと外で遊ぶ元気な教職員の姿もありました。熱中症に気を付けるように、こまめな水分補給、帽子をかぶっ

て外に出るなどの指導を行うとともに、毎時間 WBGT を計測してきました。本年度は、高学年の体育専科も入り、運動が楽しくなるような授業の工夫もしてくれました。

2学期は、運動会の練習や全校での体力づくりの取組も予定されていますが、今後も進んで体を動かすよう指導していきたいと思います。

⑧子どもの学習理解を深めるため、地域に住む方の協力を得るなど、地域との連携を図る。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、57.1%でした。割合としては、昨年度よりも約6ポイント上昇しました。

新型コロナウイルスの影響もあり、評価が低かった項目ですが、昨年度から割合が上昇傾向にあります。ゲストティーチャーを招いての授業や地域の方にお越しいただいての授業の増加が影響していると思います。本年6月にユネスコスクール・キャンディデートの承認を得た本校ですが、ユネスコスクールのネットワークを活用し、さらに ESD を推進していくとともに、地域の方や生駒市役所関係各課と連携し、地域の学習をさらに充実させていきたいと思っています。2学期以降の ESD に期待しています。